

新品種・新技術活用型産地育成支援事業（産地ブランド発掘事業）に関する事業評価票

事業実施主体名	新品種・新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時) 平成29年	目標年 平成30年		
茨城県	低アミロース良食味米品種「姫ごのみ」の高品質・安定生産技術の確立	29年度	成果目標年度において、コンソーシアム候補を1つ形成する。コンソーシアム形成に向けて、産地、実需者及び試験研究機関等の関係者を参集し、産地ブランド候補とした農産物の安定供給、品質確保、生産拡大に向けた課題とその対応方策、販売戦略についての検討を行い、関係者間の連携強化を図り、コンソーシアム形成に向けた共通認識を醸成する。	0	コンソーシアム候補を1つ形成	・「姫ごのみ」実証展示圃の設置及び農業研究所水田研究室圃場における特性把握、栽培法を検討し栽培マニュアルの作成 ・地域ブランド米の先進地事例調査 ・生産者、実需者への先進地事例の情報提供	成果目標は達成している。

新品種・新技術活用型産地育成支援事業（産地ブランド発掘事業）に関する事業評価票

事業実施主体名	新品種・新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時) 平成29年	目標年 平成30年		
茨城県	水稻中晩生品種「とよめき」の安定栽培技術の確立と普及推進	29年度	成果目標年度において、コンソーシアム候補を1つ形成する。コンソーシアム形成に向けて、産地及び試験研究機関等の関係者を参集し、農産物の安定供給、品質確保、生産拡大に向けた課題とその対応方策についての検討を行い、関係者間の連携強化を図り、コンソーシアム形成に向けた共通認識を醸成する。	0	コンソーシアム候補を1つ形成	・「とよめき」の実証圃設置による特性・地域適応性の把握および栽培マニュアルの作成 ・検討会開催による生産者への栽培技術等の情報提供 ・生産者、実需者等関係機関との情報交換・ネットワーク構築	成果目標は達成している。

新品種・新技術活用型産地育成支援事業（産地ブランド発掘事業）に関する事業評価票

事業実施主体名	新品種・新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時) 平成29年	目標年 平成30年		
埼玉県	いちごの新技術導入推進と県育成品種の生産振興	29年度	県内でコンソーシアム候補を1つ形成する。新たな栽培技術導入による栽培技術向上を背景とした新品種の生産を拡大し、産地・実需者及び試験研究機関等の関係者と連携強化を図り、販売促進のためコンソーシアム形成に向けた共通認識を醸成する。	0	コンソーシアム候補を1つ形成	・高濃度炭酸ガス処理によるハダニ類の防除技術の展示及び現地実証 ・低コストなクラウン直接温度制御（加温・冷却）技術の展示及び現地実証 ・炭酸ガス局所施用技術の展示及び現地実証 ・行政、試験研究機関、生産者、J A、流通組織等による意見交換 ・優良種苗の供給体制の確立のため、関係機関での調整 ・新品種の知名度の向上、需要の拡大を図るため、P R活動の展開を支援	成果目標は達成している。

別記様式第 8 号

新品種・新技術活用型産地育成支援事業（産地ブランド発掘事業）に関する事業評価票

事業実施主体名	新品種・新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時) 平成28年	目標年 平成30年		
長野県	ICTを活用した発情発見技術	28年度	成果目標年度において、発情発見システムを活用したモデル農場を中心としたコンソーシアムを形成し、地域内での普及・定着に向けた取組を推進する。	0	コンソーシアム候補を1つ形成	・繁殖成績の向上を目指して情報通信技術（ICT）を活用した発情発見システムを普及・定着させるため、モデル農場を設置し実績報告会及び現地検討会を開催し、酪農家の所得確保に取り組む。	成果目標は達成している。

新品種・新技術活用型産地育成支援事業（産地ブランド発掘事業）に関する事業評価票

事業実施主体名	新品種・新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時) 平成28年	目標年 平成30年		
長野県	肉用牛のゲノミック評価技術	28年度	成果目標年度において、ゲノミック評価を活用した和牛改良を推進するコンソーシアムを形成し、実需者（食肉流通業者）が求める枝肉生産に向けた子牛の生産を促進する。	0	コンソーシアム候補を1つ形成	・黒毛和牛繁殖牛の枝肉重量や脂肪交雑等の経済形質の改良に向けて従来の指標である「期待育種価」に変わる「ゲノミック評価技術」について現地へ導入を図り、「信州プレミアム牛肉」の生産基盤を強化し、和牛繁殖農家・肥育農家の所得確保に取り組む。	成果目標は達成している。

新品種・新技術活用型産地育成支援事業（産地ブランド発掘事業）に関する事業評価票

事業実施主体名	新品種・新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時) 平成28年	目標年 平成30年		
静岡県	産地・実需者との実証等を通じたコンソーシアム候補の形成	28年度	成果目標年度において、コンソーシアム候補を形成する。産地（生産者）・実需者・行政機関等の関係者が参集し、「静系糯20号」の導入や地域ブランドとなるような餅加工品の考案・販売戦略等についての検討会・研修会を行い、生産から販売までが一体となったコンソーシアム形成に向けた意識を醸成する。	0	コンソーシアム候補を形成する。	・実需者ニーズの把握と「静系糯20号」の生産・流通・利用の実態調査。 ・実需者ニーズの掘り起こしと品質確保のための栽培技術・作付体系実証試験の実施。 ・栽培暦を作成・配布し、安定生産体制を確立する。 ・試作品の検討や地域ブランド化に向けた検討会の開催。	成果目標は達成している。